日本疾病管理研究会例会（第27回）

テーマ：「疾病重症化予防の経済効果（企業の生産性向上への寄与）」

これまで、疾病の重症化問題は高齢者の医療費や高齢者医療制度への納付金・拠出金の増加要因として、着目されてきました。
しかし、50代から増加する人工透析や脳卒中など、勤労世代の疾病の重症化は労働生産能力の低下という大変重要な問題を抱えており、65歳までの雇用義務化に伴い、疾病の重症化予防は経済活動における生産性の低下や企業における労務管理コストの増加対策という新たな局面を迎えています。
今回は、健診結果や診療情報を有効活用した疾病管理による医療費や事業費の抑制とQOL向上による生産性向上への寄与など疾病の重症化予防の経済効果をテーマに、保険者機能強化の重要性について学んでいきます。

◇日時　2013年10月5日（土曜日）12時30分～18時00分
◇場所　あいおいニッセイ同和損保新宿ビル3階D会議室

所在地　渋谷区代々木3-25-3　JR新宿駅南口より徒歩10分
都営新宿線（京王新線）新宿駅より徒歩7 分（地下道ﾜﾝﾃﾞｰｽﾄﾘｰﾄご利用の場合01・02出口）

◇　Agenda　◇

1　データヘルス計画の概要と今後の展開（厚生労働省保険局保険課長　鳥井陽一氏）
2　NCD対策の重要性～ヘルスケアデータを活用して、何をどう伝えるか～（在日米国商工会議所ヘルスケア委員会副委員長 / MSD株式会社　執行役員　医療政策部門統括　長瀬敏雄氏）
3　糖尿病重症化予防の実際と効果とデータ解析（日本疾病管理研究会幹事/広島大学大学院教授　森山美知子氏、フジクラ株式会社）
4　糖尿病患者のアドヒアランス向上とICT～血糖セルフモニタリングデバイスの新たな利活用～（株式会社メディエイド　代表取締役社長　杉山博幸氏）
5　データヘルス計画の実務とメリット（株式会社メディヴァ　代表取締役　大石佳能子氏）
6　米国のヘルスケアの現状（日本疾病管理研究会幹事/Gregg Mayer & Company代表　Gregg L. Mayer氏）
7　パネルディスカッション
　座長　国際医療福祉大学大学院教授　武藤正樹氏

参加希望の方は、HCI21のホームページからお申込みください。
http://www.hci21.org/
なお、ウェブサイトにアクセスできない方は、次ページの内容を事務局あてEメールにてお送りください。

参加費 5,000円

主催　日本疾病管理研究会（DMAJ）
協賛　あいおいニッセイ同和損害保険㈱

＜緊急連絡先＞
日本疾病管理研究会事務局
国際医療福祉大学大学院　内
HCI21事務局長
成田　徹郎　090-2251-7439

日本疾病管理研究会　第26回例会　2013年10月5日（土曜日）開催

【E-mail にて参加申込の場合】

宛 先：日本疾病管理研究会事務局

以下の内容をお送りください。

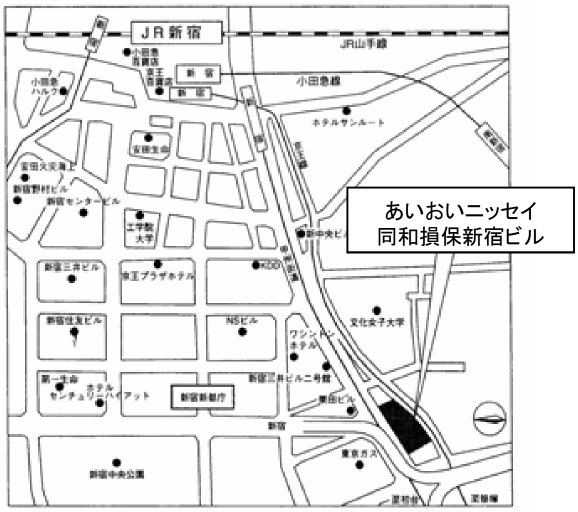
hci21info@gmail.com　**申込締切日 2013年10月3日（木）**

ご芳名	ふりがな
ご所属 （企業団体名等）	
役職	
ご住 所 （連絡先）	〒　　ー
TEL＆FAX	Tel Fax
E-mail　アドレス	＠
連絡事項	※ご質問等ありましたらこちらへご記入下さい

参加費用は、当日受付にてお支払下さい。
日本疾病管理研究会　第27回例会参加費　5,000円

ご不明な点は、日本疾病管理研究会事務局　HCi21info@gmail.com へメールにてお問い合わせください。

あいおい損保新宿ビルへのアクセス

住所　渋谷区代々木3-25-3
JR 新宿駅南口より徒歩10分
都営新宿線（京王新線）新宿駅より徒歩7 分
（地下道ワンデーストリートご利用の場合01・02出口）

会場案内図